

平成19年11月12日

財政課  
0742-34-1111 内線 2310

## 平成20年度の予算編成方針の概要について

(平成19年10月18日各部署へ方針を通知。今後、新年度予算編成に当たる。)

(概要)

1. 我が国の経済情勢は、景気回復が続くと見込まれているが、金利や原油価格の動向、昨今の株価変動など、先行きの不透明感はぬぐえない。
2. 国においては、国と地方の税源配分の見直しのなどの改革に向け検討するとされているが、国の予算編成、税制改正等の動向に不確定要素が多く、予断を許さない状況である。
3. 本市においても、市税の大幅な増加は期待できず、また、地方交付税などの歳入の確保も非常に厳しい状況にあり、平成19年度から4年間で172億円もの収支不足が見込まれることから、引き続き行財政改革を推進し、最大限、歳入の確保に努め、抜本的な見直しと、思い切った歳出削減を図らなければならない。
4. このような厳しい状況下でも、行政の責務を果たし、また真に市民にとって必要なサービスを提供し、将来の都市像を具体的に実現するための施策として「まちづくりプログラム」を推進する必要がある。

この為の予算編成として、

必要な施策を「選択と集中」による予算重点配分により展開する

「行財政改革の推進」による財政の健全化が絶対的条件

事務事業の再編整理等の行財政改革の方策を主眼において進める

**基本方針**としては、平成19年度に定めた市政運営4つの目標の柱は基本姿勢としては変わりなく、「それぞれの施策については、18年度から19年度において、種を蒔き、芽が出て、幹として育ち始めている。平成20年度は、その幹から枝葉を育てる年であり、花を咲かせ実を实らす礎を築く営みを進めていく」という考えで、予算編成に取り組む考えである。

( 基本方針 )

《行政の基本理念》として

「奈良の改新。愛し愛される奈良をめざして」

《まちづくりの基本方針》として

「地域コミュニティからの夢と誇りあるまちの創造」とする。

《市政運営4つの目標》

まちづくりプログラム

- 1．市民の生活像づくり
- 2．市の都市像づくり

市政推進のための体制整備

- 3．市政運営の仕組みづくり
- 4．市政運営を支える行財政改革の推進

(財政見通しとシーリングについて)

「第3次総合計画後期基本計画」の実施計画で明らかにしているように、平成19年度から4年間で172億円もの収支不足が生じる見通しであり、その中での平成20年度の不足額は39億7千万円となっている。

新年度の予算編成に当たっては、重点施策としての「まちづくりプログラム」の実現に向けて取り組みを進める一方、この収支不足への対応を含めた行財政改革についても重点課題として、さらに精度を高め、財政の健全化に努めるものであり、予算編成における事務事業の精査においては、単なる経費の削減ではなく、事務事業の仕分けによる事務事業再編整理を中心に進める。

#### シーリング等の考え方

- ・ 経常経費においては、事務事業の仕分けによる事務事業再編整理として事業を抽出して見直しを行う。

したがって、財源捻出のためには節減という観点から、見直し事業等を除いて、前年度当初予算の90%以内の額を限度とする。

- ・ 政策経費においては、まちづくりのプログラムを中心に、選択と集中により予算の重点配分を行う。

継続的な投資的事業は、前年度当初予算の80%以内の額を限度とする。